

Global Energy Policy Research

GEPR (グローバルエネルギー・ポリシーリサーチ) は、日本と世界のエネルギー政策を深く公平に研究し、社会に提言するウェブ上の「仮想シンクタンク」です。この機関は、アゴラ研究所 (<http://agorajp.com/>、東京) が運営し、エネルギー問題についての研究と調査、インターネットでの情報提供、シンポジウムの開催、提言の作成、書籍の出版を行います。

今週のアップデート

電源・温室効果ガス削減、深掘りの意見を (2015年6月1日)

GEPR編集部・Monday, June 1st, 2015

アゴラ研究所の運営するエネルギーのバーチャルシンクタンク「GEPR」(グローバルエネルギー・ポリシーリサーチ) はサイトを更新しました。

今週のアップデート

1) 電気料金の高止まりを招く電源構成案

井伊重之産経新聞論説委員に寄稿いただきました。エネルギーミックス案について分かりやすく解説。コストへの配慮という経済で語られるべき視点が、深掘りされていないという指摘です。この指摘の通り、じっくり考えるべき問題です。

2) CO2削減目標マイナス26%をどう「位置づける」べきか

エネルギー政策の著名研究者である電力中央研究所の杉山大志さんの論考です。温室効果ガス削減の数値目標が、実現可能性、また精査が足りないことを指摘。政治的目標にすることを勧めています。提携する国際環境経済研究所のサイト掲載の文章です。

今週のリンク

1) 2020年以降の地球温暖化対策検討小委員会 (第7回会合)

経済産業省、4月30日開催。今回のテーマである温暖化対策と30年までに13年度比26%案をまとめた委員会です。

2) (政策リーダー) 電源構成、原発で決定先送り役所・慎重派、あうんの呼吸?

日本経済新聞5月28日記事。現在検討されるエネルギーミックスについて、審議内容の事情を解説。電源構成では、経産省側が反対ができることを見越して原子力を20 - 22%にする案を作ったとの推測です。

3) IAEA福島事故リポート

国際原子力機構 (IAEA) 5月14日公表。英文。東電福島原発事故について調査を重ねて

きたIAEAが報告案をまとめました。事故の備えがなかったこと指摘する一方で、健康被害の予想できない知見も示しています。(紹介のプレスリリース)

4) 40年超える原発運転、初の審査始まる 高浜1・2号機

朝日新聞5月28日記事。原子力規制委員会のつくった40年での廃炉ルールは、審査で延長が認められています。初の20年延長審査が関電の高浜1、2号炉で始まりしました。ただし、何をすれば大丈夫なのか、基準が規制委側から明確に示されず、先行きは不透明です。

5) 原発の穴を埋めるのは石炭火力

池田信夫アゴラ研究所所長の論考。アゴラ5月29日掲載。今、石炭の再評価が世界で進んでおり、原発停止の中で日本でも注目されています。問題は温室効果ガスと大気汚染です。どれを選ぶべきかの問いかけです。

This entry was posted on Monday, June 1st, 2015 at 2:00 pm and is filed under [アップデート](#)

You can follow any responses to this entry through the [Comments \(RSS\)](#) feed. Responses are currently closed, but you can [trackback](#) from your own site.